

# 結

MUSUBI

## 生徒会役員退任挨拶

井上陽介  
木村悠生  
樋口雄大  
西藪 健  
林田尚毅

生徒会長

井上陽介



私の二年間の生徒会活動は、とても貴重な経験となりました。中学副会長として活動した一年は、先輩方に様々なことを教えていただきながら、見よう見まねでやっていたように

思います。今年が自分が生徒会長として、生徒会を引っ張っていく立場になり、なかなか上手くないかないなあと感じることも多かったのですが、男子だけの生徒会ということもあり、個人的には楽しんで活動を行うことができ、素敵な思い出も増えました。さらに、先輩方の偉大さを感じることもできました。

心残りとしては、「オープンな生徒会」を目標にしてきましたが、コロナ禍による休校で活動自体が難しい期間もありましたが、そのイレギュラーな状況に対応しきれず、目標を達成できなかったことです。この思いは後輩たちに託し、よりよい学校づくりに励んでもらいたいと思っています。

最後に、ここまで生徒会活動をやってこられたのは、ひとえに、たくさん指導してくださった先生方、困った時に相談に乗ってもらった先輩方、しんどい時に支えてくれた友人達のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

高校副会長

木村悠生



去年の生徒会選挙で話した「明るいオープンな生徒会」にするという目標を僕たちは達成できたでしょうか。ほとんどの人は、何をしていたかあまりわからなかったと答えるでしょう。僕自身もそう答えます。もっといろいろなイベントを開き、もっと学校の改善できるところを見つけれられたのではと、後悔しています。

僕たちのできなかったことの一つに目安箱の要望を叶えるということがあります。たくさん書いてもらったにも関わらず、生徒会で話し合うのみで実現できなかったのを後悔しています。新生徒会は要望書という形で、皆さんと話し合う機会を作ると話していました。これは僕たちが思いもつかなかったもので、とても良い物になると期待しています。

最後になりましたが、僕の文章を読んでくださった皆さん、そして先生方、一年間ありがとうございました。



高校書記

樋口雄大



私は第四十四代より二年間、生徒会の活動に関わってきました。その活動も終わりになると思うと寂しいですが、今では全てが思い出として心に残っています。

「生徒会」は生徒会役員だけでは成り立ちません。生徒会役員以外の生徒の皆さん、先生方の存在があるからこそ成り立つ、そういうものだと考えています。支えてくださった皆さん、本当にありがとうございます。最後になりましたが、生徒の皆さん、奈良学園は本当に素晴らしい学校です。これからも奈良学園を大切に、悔いのない一度きりの中学生生活、高校生活を送ってください。本当にありがとうございます。

中学副会長

西藪 健



この一年間生徒会として活動してきた中で、多くのことを学び、生徒会活動に対する考えを深めることが出来たように思います。私は十月の生徒会選挙で、

生徒会長に当選し、あと一年間生徒会として活動できる機会を与えてもらいました。今まで学んだことを活かしながら、「結果を出す生徒会」を実現し、存在意義のある生徒会になるよう努めていきたいと思っています。そして結果を出すことで、より身近でオープンな生徒会に感じてもらえれば幸いです。どうぞよろしくお願いしま

す。

中学書記

林田尚毅



私は周り協力して物事を進めるとい、クラブ活動とは少し違った経験をしたこと、多くのことを知り、視野が広がりました。またそれは、私を支えてくださった先生方、生徒の皆さん、あるいは生徒会役員のおかげです。ありがとうございました。その一方で、私はこのような貴重な経験の中で皆さんの失敗をして、周りの人に頼りすぎたと感じました。来年度はこれまでの経験から得た学びを活かし、生徒会として胸を張れるよう、学校のために尽力したいと思います。

## 学校の備品を新しくしました。

目安箱の投書に、食堂前テラスの椅子と机、体育館の靴箱が壊れていて使にくいというものがありません。事務長さんをお願いしたところ、食堂前テラスには、椅子と机を新たに三組入れてくださいました。また、体育館の靴箱も新しいものに交換してくださいました。



事務室の方々のお世話で便利になりましたが、今度は僕達が、この新しい備品がいつまでも綺麗であるよう、気をつけて使っていきます。

